

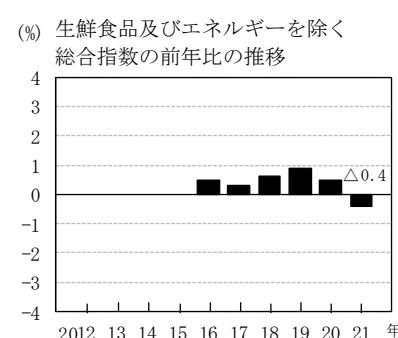
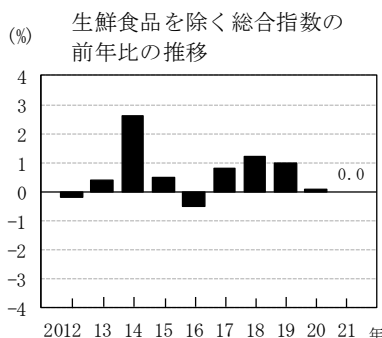
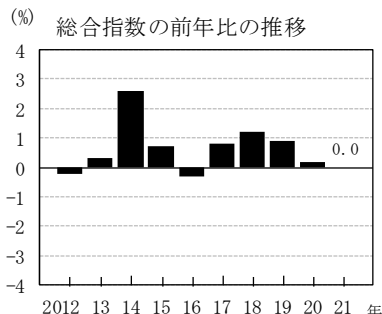
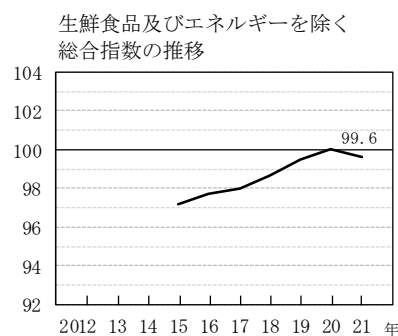
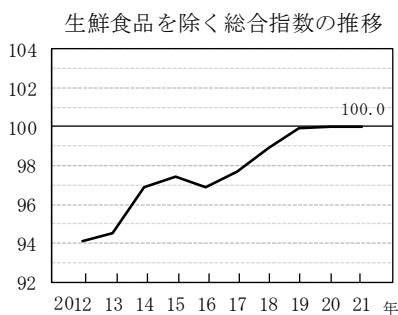


# 長野市の消費者物価指数 -2020年基準- 2021年平均(確報値)をお知らせします

総合指数は、2020年(令和2年)を100として100.0となり、前年と同水準でした。

生鮮食品を除く総合指数は100.0となり、前年と同水準でした。

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は99.6となり、前年比は0.4%下落しました。



(注) ・前年比の数値は、端数処理(四捨五入)の関係で、公表された指数を用いて算出した値とは一致しない場合があります。

・「生鮮食品及びエネルギーを除く総合」指数については、2015年(平成27年)から公表が開始されました。

\* 「長野市の消費者物価指数」は、インターネットでも提供しています。

アドレス <https://tokei.pref.nagano.lg.jp/>

\* この資料は、「総務省統計局『小売物価統計調査』の調査票情報」の長野市内価格を集計したものです。

信州版「新たな日常のすゝめ」

©長野県アルクマ



新型コロナウイルスの感染を防止するための行動を自ら考え実践しましょう

企画振興部総合政策課統計室統計第二係  
 (室長) 山寄 哲哉 (担当) 山本 かおり  
 電話 026-235-7073 (直通)  
 026-232-0111 (代表) 内線 5114  
 ファクシミリ 026-235-0517  
 電子メール tokei@pref.nagano.lg.jp

## 1 近年の総合指数の動き

(2020年(令和2年)=100)

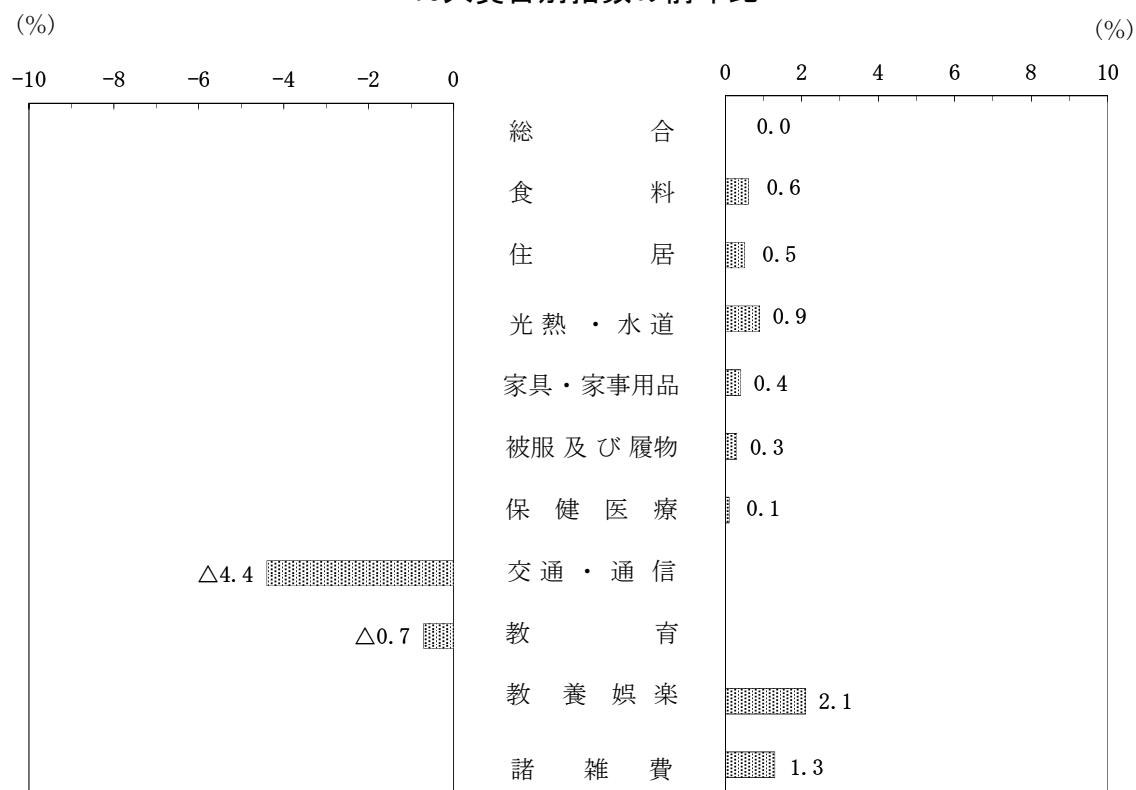
区分	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
指数	93.7	94.0	96.5	97.2	96.9	97.7	98.9	99.8	100.0	100.0
前年比(%)	△ 0.2	0.3	2.6	0.7	△ 0.3	0.8	1.2	0.9	0.2	0.0

## 2 10大費目別指数

区分	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
ウェイト	10000	2579	2100	768	416	354	458	1523	206	989	607
指数	100.0	100.6	100.5	100.9	100.4	100.3	100.1	95.6	99.3	102.1	101.3
前年比(%)	0.0	0.6	0.5	0.9	0.4	0.3	0.1	△ 4.4	△ 0.7	2.1	1.3

(注)ウェイト:総合と10大費目の合計は、端数処理のため一致していない。

### 10大費目別指数の前年比



# 消費者物価指数（長野市）

2021年平均 確報値

10大費目別

(2020年(令和2年)=100)

分類	指数	前年比
		%
総合	100.0	0.0
食料	100.6	0.6
穀類	102.9	2.9
魚介類	102.8	2.8
生鮮魚介	105.0	5.0
肉類	101.6	1.6
乳卵類	102.6	2.6
野菜・海藻	97.5	△2.5
生鮮野菜	96.5	△3.5
果物	97.4	△2.6
生鮮果物	97.9	△2.1
油脂・調味料	101.5	1.5
菓子類	99.6	△0.4
調理食品	101.9	1.9
飲料	98.2	△1.8
酒類	98.9	△1.1
外食	100.9	0.9
住居	100.5	0.5
家賃	99.8	△0.2
設備修繕・維持	102.5	2.5
光熱・水道	100.9	0.9
電気代	99.0	△1.0
ガス代	98.1	△1.9
他の光熱	116.6	16.6
上下水道料	100.0	0.0
家具・家事用品	100.4	0.4
家庭用耐久財	103.2	3.2
室内装備品	90.8	△9.2
寝具類	95.7	△4.3
家事雑貨	99.8	△0.2
家事用消耗品	100.1	0.1
家事サービス	100.3	0.3
被服及び履物	100.3	0.3
衣料	101.1	1.1
和服	100.0	0.0
洋服	101.1	1.1
シャツ・セーター・下着類	99.1	△0.9
シャツ・セーター類	100.5	0.5
下着類	96.3	△3.7
履物類	101.1	1.1

分類	指数	前年比
		%
他の被服	98.6	△1.4
被服関連サービス	101.7	1.7
保健医療	100.1	0.1
医薬品・健康保持用摂取品	100.5	0.5
保健医療用品・器具	101.0	1.0
保健医療サービス	99.5	△0.5
交通・通信	95.6	△4.4
交通	100.8	0.8
自動車等関係費	102.5	2.5
通信	78.9	△21.1
教育	99.3	△0.7
授業料等	98.4	△1.6
教科書・学習参考教材	100.0	0.0
補習教育	101.7	1.7
教養娯楽	102.1	2.1
教養娯楽用耐久財	98.3	△1.7
教養娯楽用品	99.6	△0.4
書籍・他の印刷物	101.3	1.3
教養娯楽サービス	103.9	3.9
諸雑費	101.3	1.3
理美容サービス	100.0	0.0
理美容用品	100.6	0.6
身の回り用品	100.6	0.6
たばこ	108.5	8.5
他の諸雑費	101.5	1.5
別掲		
生鮮食品	99.2	△0.8
生鮮食品を除く総合	100.0	0.0
生鮮食品を除く食料	100.9	0.9
持家の帰属家賃を除く総合	100.0	0.0
持家の帰属家賃を除く住居	101.7	1.7
持家の帰属家賃を除く家賃	100.0	0.0
持家の帰属家賃及び生鮮食品を除く総合	100.0	0.0
エネルギー	104.0	4.0
食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	99.2	△0.8
教育関係費	99.4	△0.6
教養娯楽関係費	101.9	1.9
情報通信関係費	81.8	△18.2
生鮮食品及びエネルギーを除く総合	99.6	△0.4

### 3 費目別指数の動き

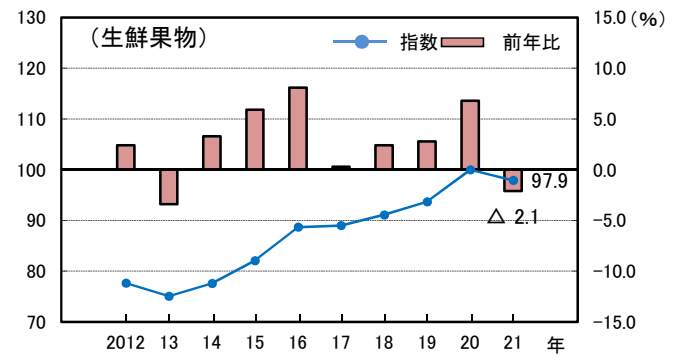
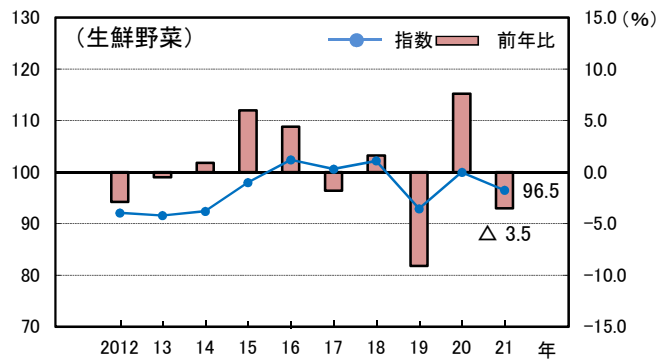
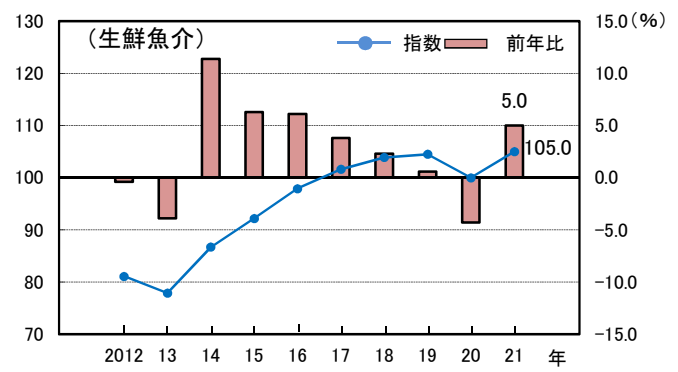
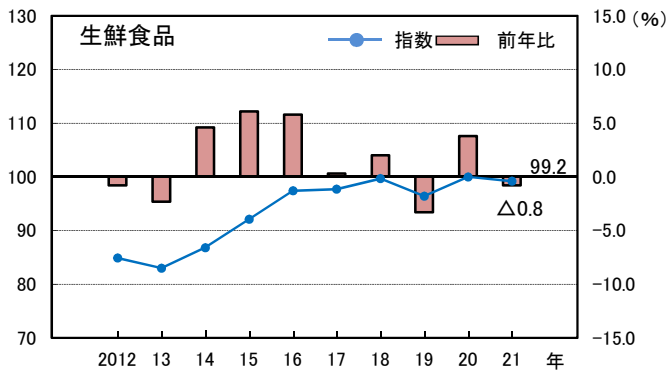
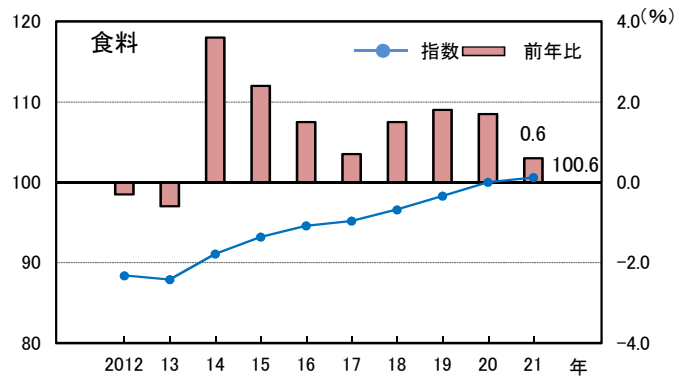
#### (1) 食料

年平均指数は100.6となり、前年比は0.6%上昇しました。

内訳をみると、「穀類」は2.9%、「魚介類」は2.8%、「乳卵類」は2.6%、「調理食品」は1.9%、「肉類」は1.6%、「油脂・調味料」は1.5%、「外食」は0.9%それぞれ上昇しました。一方、「果物」は2.6%、「野菜・海藻」は2.5%、「飲料」は1.8%、「酒類」は1.1%、「菓子類」は0.4%それぞれ下落しました。

生鮮食品についてみると、「生鮮魚介」は5.0%上昇しました。一方、「生鮮野菜」は3.5%、「生鮮果物」は2.1%それぞれ下落しました。

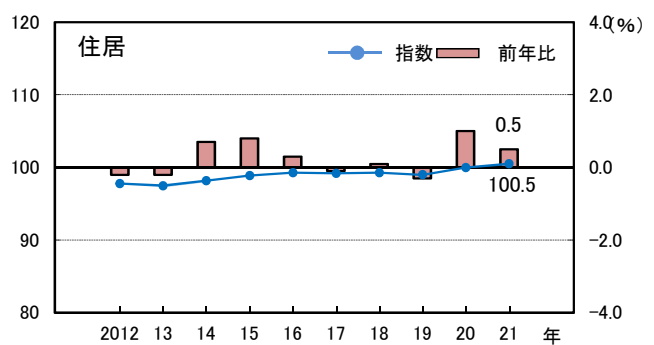
「生鮮食品」全体では、年平均指数は99.2となり、前年比は0.8%下落しました。



#### (2) 住居

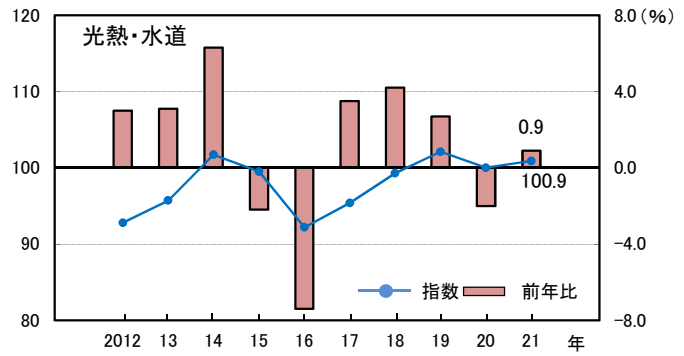
年平均指数は100.5となり、前年比は0.5%上昇しました。

内訳をみると、「設備修繕・維持」は2.5%上昇しました。一方、「家賃」は0.2%下落しました。



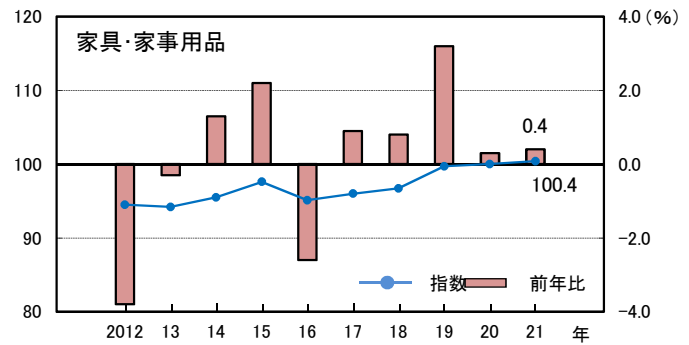
### (3) 光熱・水道

年平均指数は100.9となり、前年比は0.9%上昇しました。  
内訳をみると、「他の光熱」は16.6%上昇しました。一方、「ガス代」は1.9%、「電気代」は1.0%それぞれ下落しました。また、「上下水道代」は同水準でした。



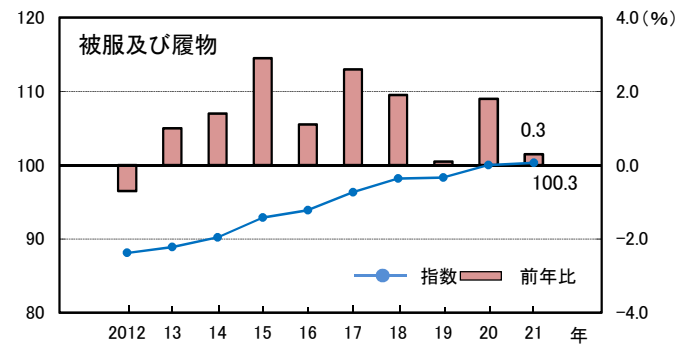
### (4) 家具・家事用品

年平均指数は100.4となり、前年比は0.4%上昇しました。  
内訳をみると、「家庭用耐久財」は3.2%、「家事サービス」は0.3%、「家事用消耗品」は0.1%それぞれ上昇しました。一方、「室内装備品」は9.2%、「寝具類」は4.3%、「家事雑貨」は0.2%それぞれ下落しました。



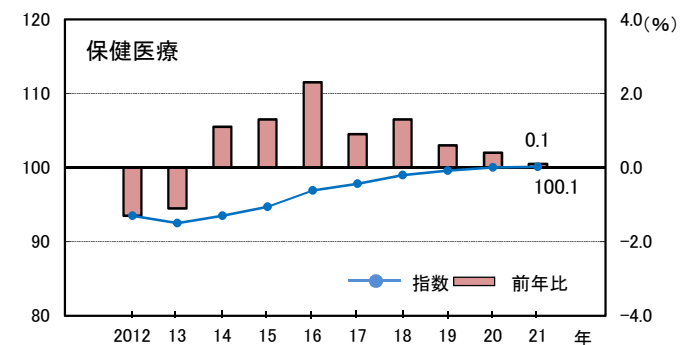
### (5) 被服及び履物

年平均指数は100.3となり、前年比は0.3%上昇しました。  
内訳をみると、「被服関連サービス」は1.7%、「洋服」及び「履物類」は1.1%、「シャツ・セーター類」は0.5%それぞれ上昇しました。一方、「下着類」は3.7%、「他の被服」は1.4%それぞれ下落しました。また、「和服」は同水準でした。



### (6) 保健医療

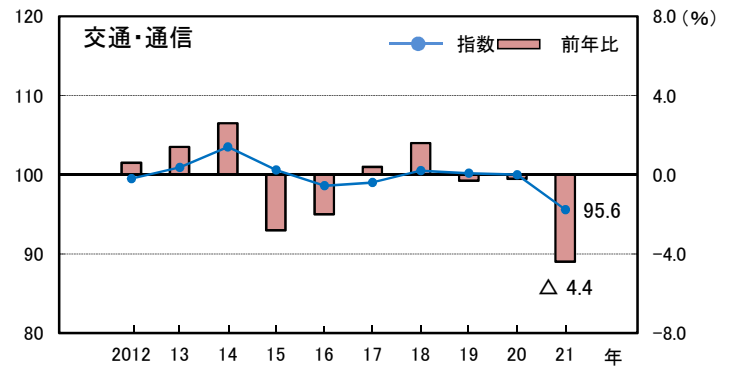
年平均指数は100.1となり、前年比は0.1%上昇しました。  
内訳をみると、「保健医療用品・器具」は1.0%、「医薬品・健康保持用摂取品」は0.5%それぞれ上昇しました。一方、「保健医療サービス」は0.5%下落しました。



(7)交通・通信

年平均指数は95.6となり、前年比は4.4%下落しました。

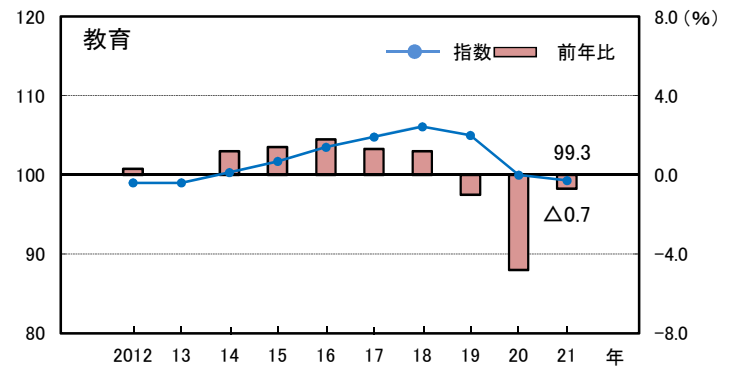
内訳をみると、「自動車等関係費」は2.5%、「交通」は0.8%それぞれ上昇しました。一方、「通信」は21.1%下落しました。



(8)教育

年平均指数は99.3となり、前年比は0.7%下落しました。

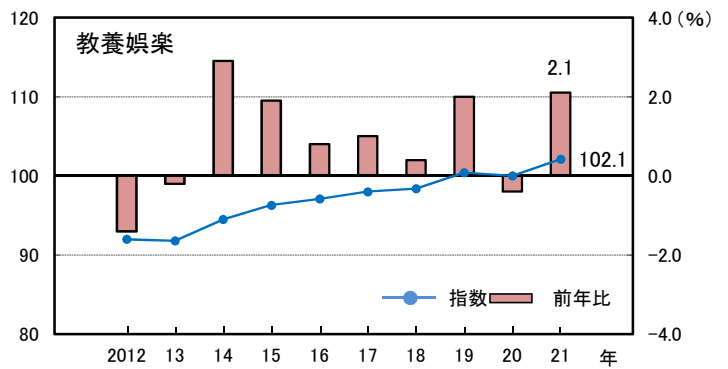
内訳をみると、「補習教育」は1.7%上昇しました。一方、「授業料等」は1.6%下落しました。また、「教科書・学習参考教材」は同水準でした。



(9)教養娯楽

年平均指数は102.1となり、前年比は2.1%上昇しました。

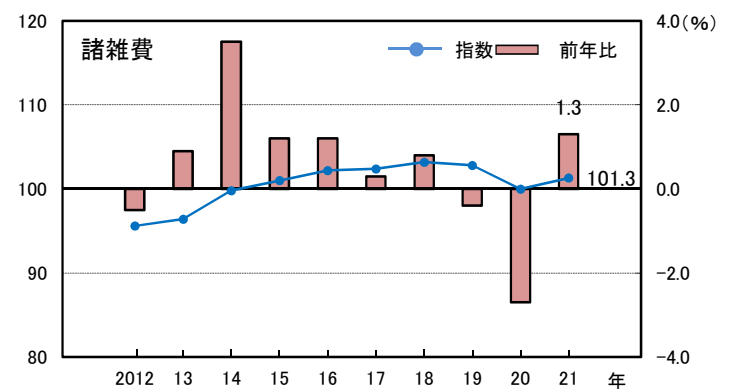
内訳をみると、「教養娯楽サービス」は3.9%、「書籍・他の印刷物」は1.3%、それぞれ上昇しました。一方、「教養娯楽用耐久財」は1.7%、「教養娯楽用品」は0.4%それぞれ下落しました。



(10)諸雑費

年平均指数は101.3となり、前年比は1.3%上昇しました。

内訳をみると、「たばこ」は8.5%、「他の諸雑費」は1.5%、「理美容用品」及び「身の回り用品」は0.6%それぞれ上昇しました。また、「理美容サービス」は同水準でした。



## 2020年基準 都市別消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)

(2020年(令和2年)=100)

区 分		長 野 市		全 国		東 京 都 区 部	
年		指 数	前年(度)比 (%)	指 数	前年(度)比 (%)	指 数	前年(度)比 (%)
年          別	2012年	94.1	△0.2	95.1	△0.1	95.8	△0.5
	2013	94.5	0.4	95.5	0.4	95.9	0.1
	2014	96.9	2.6	98.0	2.6	97.9	2.2
	2015	97.4	0.5	98.5	0.5	98.5	0.6
	2016	96.9	△0.5	98.2	△0.3	98.2	△0.3
	2017	97.7	0.8	98.7	0.5	98.3	0.2
	2018	98.9	1.2	99.5	0.9	99.1	0.8
	2019	99.9	1.0	100.2	0.6	100.0	0.9
	2020	100.0	0.1	100.0	△0.2	100.0	0.0
	2021	100.0	0.0				
年          度          別	2011年度	94.3	△0.1	95.2	0.0	96.2	△0.3
	2012	94.0	△0.3	95.0	△0.2	95.7	△0.6
	2013	94.7	0.7	95.8	0.8	96.1	0.4
	2014	97.5	2.9	98.5	2.8	98.5	2.5
	2015	97.3	△0.3	98.5	0.0	98.5	0.0
	2016	97.1	△0.2	98.2	△0.2	98.1	△0.4
	2017	98.0	1.0	98.9	0.7	98.5	0.4
	2018	99.2	1.2	99.7	0.8	99.4	0.9
	2019	100.2	1.0	100.3	0.6	100.2	0.7
	2020	99.8	△0.4	99.9	△0.4	99.9	△0.2